

## 「わたしを強めてくださる方のお陰で、わたしにはすべてが可能です」

フィリピの信徒への手紙 第4章13節

イエス様の弟子であるパウロは、イエス様の救いを宣べ伝えることが悪いことであるとされて、今、牢獄に捕えられています。そのパウロを助けてくれる仲間たちに、信仰の励ましを語るのです。ここで言う「わたしにはすべてが可能です」とは、少し前で「わたしは、自分の置かれた境遇に満足することを習い覚えたのです」(4・12)と語っていることから、「どんな境遇にあっても、私は恵みに満たされ、喜んで生きて行けます」と語っていると分かります。不当にも牢獄に捕えられているのに、パウロはそう言う。やせ我慢をしているのでしょうか。そうではありません。「わたしを強めてくださる方のお陰で」、と言います。そのお方とはイエス様。私の救いのために、生きる力を与えるために、私の罪の身代わりに十字架に架かって死んで下さったイエス様が、いつも私と共にいて下さる。その事を改めて思い起こし、恵みを語る。そうして仲間たちを励ましているのです。

どんなに厳しい境遇にあっても、自分は恵みに満たされ、喜んで生きて行ける。イエス様に救われている私たちは、この生き方ができるのです。厳しい中で生きざるを得ない時、不安と不平不満の心に支配されるのではない。そこで与えられる、ほんの小さな幸いをも、救い主が与えて下さる素晴らしい恵みなのだ、喜んで知ることができるのです。

遠州教会 牧師 石井佑二